

課程 全日制

教科	体育	科目	体育	単位数	2	学年	1	科	全学科
使用教科書		なし							

1. 科目の目標と評価の観点

目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		
評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

※「体づくり運動」および「体育理論」においては、評価の観点①知識・技能の技能を含めない。

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	具体的な項目
学習状況の観察	◎	○	◎	授業への取り組み
実技テスト	◎	○	○	各領域における共通実技テスト
学習カード		◎	○	学習カードへの記載内容
生徒との対話		○	◎	コミュニケーション能力

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

・時間の厳守。 ・学校指定の体育ジャージを着用する。 ・貴重品の管理を徹底する。 ・体育館シューズは屋内体育施設のみで使用する。 ・遅刻、早退、公欠や体調不良等の報告・連絡・相談を徹底する。

4. 年間学習計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4 月	オリエンテーション A 体づくり運動		20
	5 月	【 選択制授業Ⅰ期 】 E 球技 ア) ゴール型・サッカー		
	6 月	イ) ネット型・バレーボール F 武道 ア) 柔道		
二 学 期	7 月	【 選択制授業Ⅱ期 】 B 器械運動 ア) マット運動 イ) 跳び箱運動		30
	8 月	D 水泳 ア) クロール イ) 平泳ぎ ウ) 背泳ぎ F 武道		
	9 月	ア) 柔道		
	10 月	【 選択制授業Ⅲ期（体育理論 2 単位時間を含む） 】 E 球技 イ) ネット型・バレーボール ウ) ベースボール型・ソフトボール		
	11 月	F 武道 ア) 柔道		
		【 選択制授業Ⅳ期（体育理論 2 単位時間を含む） 】 E 球技 ア) ゴール型・サッカー ア) ゴール型・バスケットボール F 武道 ア) 柔道		
三 学 期	12 月	E 球技（体育理論 2 単位時間を含む）		20
	1 月	イ) ネット型・バドミントン イ) ネット型・卓球		
	2 月			
	3 月			

合計 70 時間

課程 全日制

教科	保健	科目	保健	単位数	1	学年	1	科	全学科
使用教科書		現代高等保健体育(大修館) 現代高等保健体育ノート(大修館)							

1. 科目の目標と評価の観点

目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	具体的な項目
学習状況の観察		◎	○	授業への取り組み
ペーパーテスト	◎	○		定期考査(各学期1回実施)
ワークシート		○	◎	板書等の記載、毎時間のまとめ
提出物			◎	保健体育ノートの提出

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

・毎時間の授業開始前に教科書・副教材を準備する。 ・板書事項等は、保健体育ノートに記載する。 ・ペーパーテスト(定期考査)は、各学期1回実施する。 ・提出物(保健体育ノート)は、各学期の定期考査時に提出する。 ・遅刻、早退、公欠や体調不良等の報告・連絡・相談を徹底する。

4. 年間学習計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4 月	オリエンテーション	左記範囲	1 0
		【 1 单元 現代社会と健康 】		
	5 月	1. 健康の考え方と成り立ち		
	6 月	2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康		
二 学 期	7 月	9. 喫煙と健康	左記範囲	1 5
		10. 飲酒と健康		
	8 月	11. 薬物乱用と健康		
		12. 精神疾患の特徴		
三 学 期	9 月	13. 精神疾患の予防	左記範囲 および 体の名称	1 0
		14. 精神疾患からの回復		
	1 0 月	15. 現代の感染症		
		16. 感染症の予防		
三 学 期	1 1 月	17. 性感染症・エイズとその予防	左記範囲 および 体の名称	1 0
		18. 健康に関する意思決定・行動選択		
		19. 健康に関する環境づくり		
		【 2 单元 安全な社会生活 】		
三 学 期	1 2 月	1. 事故の現状と発生要因	左記範囲 および 体の名称	1 0
		2. 安全な社会の形成		
	1 月	3. 交通における安全		
		4. 応急手当の意義とその基本		
三 学 期	2 月	5. 日常的な応急手当	左記範囲 および 体の名称	1 0
	3 月	6. 心肺蘇生法		

合計 3 5 時間

課程 全日制

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	学年	2	科	全学科
使用教科書 副教材		なし							

1. 科目の目標と評価の観点

目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③運動の技能	④知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

※「体づくり運動」および「体育理論」においては、評価の観点③運動の技能を含めない。

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
学習状況の観察	◎	○	○		授業への取り組み
実技テスト		○	◎	○	各領域における共通実技テスト
学習カード	○	○		◎	学習カードへの記載内容
生徒との対話	○	◎		○	コミュニケーション能力

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

- ・時間の厳守。
- ・学校指定の体育ジャージを着用する。
- ・貴重品の管理を徹底する。
- ・体育館シューズは屋内体育施設のみで使用する。
- ・遅刻、早退、公欠や体調不良等の報告・連絡・相談を徹底する。

4. 年間学習計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	オリエンテーション A体づくり運動		
	5月	【 選択制授業Ⅰ期 】 E球技 ア) ゴール型・サッカー		20
	6月	イ) ネット型・バレーボール F武道 ア) 柔道		
二 学 期	7月	【 選択制授業Ⅱ期 】 B器械運動 ア) マット運動 イ) 跳び箱運動 D水泳 ア) クロール イ) 平泳ぎ ウ) 背泳ぎ F武道 ア) 柔道		
	8月			
	9月	【 選択制授業Ⅲ期（体育理論2単位時間を含む） 】 E球技 イ) ネット型・バレーボール ウ) ベースボール型・ソフトボール F武道 ア) 柔道		30
	10月			
	11月	【 選択制授業Ⅲ期（体育理論2単位時間を含む） 】 E球技 ア) ゴール型・バスケットボール ア) ゴール型・サッカー F武道 ア) 柔道		
三 学 期	12月	【 選択制授業Ⅳ期（体育理論4単位時間を含む） 】 E球技		
	1月	イ) ネット型・バドミントン イ) ネット型・卓球		20
	2月			
	3月			

合計 70時間

課程 全日制

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	学年	2	科	全学科
使用教科書 副教材		現代高等保健体育（大修館） 現代高等保健体育ノート（大修館）							

1. 科目の目標と評価の観点

目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。		
評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③知識・理解
	生涯を通じる健康、社会生と健康について、関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	生涯を通じる健康、社会生と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	生涯を通じる健康、社会生と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	具体的な項目
学習状況の観察	◎	○	○	授業への取り組み
ペーパーテスト	○	○	◎	定期考査（各学期1回実施）
ワークシート	○	◎	○	板書等の記載、毎時間のまとめ
提出物	◎	○	○	保健体育ノートの提出

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

・毎時間の授業開始前に教科書・副教材を準備する。 ・板書事項等は、保健体育ノートに記載する。 ・ペーパーテスト（定期考査）は、各学期1回実施する。 ・提出物（保健体育ノート）は、各学期の定期考査時に提出する。 ・遅刻、早退、公欠や体調不良等の報告・連絡・相談を徹底する。

4. 年間学習計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	オリエンテーション	左記範囲	10
		【 2 単元 生涯を通じる健康 】		
	5月	1. 思春期と健康		
		2. 性意識と性行動の選択		
		3. 結婚生活と健康		
		4. 妊娠・出産と健康		
	6月	5. 家族計画と人工妊娠中絶		
		6. 加齢と健康		
二 学 期	7月	7. 高齢者のための社会的とりくみ	左記範囲	15
		8. 保健制度とその活用		
	8月	9. 医療制度とその活用		
		10. 医薬品と健康		
	9月	11. さまざまな保健活動や対策		
	10月	【 3 単元 社会生活と健康 】		
		1. 大気汚染と健康		
	11月	2. 水質汚濁・土壌汚染と健康		
		3. 健康被害の防止と環境対策		
		4. 環境衛生活動のしくみと働き		
三 学 期	12月	5. 食品衛生活動のしくみと働き	左記範囲 および 体の名称	10
		6. 食品と環境の保健と私たち		
	1月	7. 働くことと健康		
		8. 労働災害と健康		
	2月	9. 健康的な職業生活		
	3月			

合計 35時間

課程 全日制

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	学年	3	科	全学科
使用教科書 副教材		なし							

1. 科目の目標と評価の観点

目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③運動の技能	④知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

※「体づくり運動」および「体育理論」においては、評価の観点③運動の技能を含めない。

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
学習状況の観察	◎	○	○		授業への取り組み
実技テスト		○	◎	○	各領域における共通実技テスト
学習カード	○	○		◎	学習カードへの記載内容
生徒との対話	○	◎		○	コミュニケーション能力

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

・時間の厳守。 ・学校指定の体育ジャージを着用する。 ・貴重品の管理を徹底する。 ・体育館シューズは屋内体育施設のみで使用する。 ・遅刻、早退、公欠や体調不良等の報告・連絡・相談を徹底する。

4. 年間学習計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	オリエンテーション A体づくり運動		30
	5月	【選択制授業Ⅰ期】 E球技 ア) ゴール型・サッカー		
	6月	イ) ベースボール型・ソフトボール 【選択制授業Ⅱ期】 E球技 ア) ゴール型・バスケットボール イ) ネット型・バレーボール		
二 学 期	7月	【選択制授業Ⅲ期】 B器械運動 ア) マット運動 イ) 跳び箱運動		45
	8月	D水泳 ア) クロール イ) 平泳ぎ ウ) 背泳ぎ オ) 複数の泳法で長く泳ぐ又はリレー		
	9月	【選択制授業Ⅳ期（体育理論1単位時間を含む）】 E球技		
	10月	イ) ネット型・バレーボール ウ) ベースボール型・ソフトボール		
	11月	【選択制授業Ⅴ期（体育理論1単位時間を含む）】 E球技 ア) ゴール型・バスケットボール ア) ゴール型・サッカー		
三 学 期	12月	【選択制授業Ⅵ期（体育理論4単位時間を含む）】		30
	1月	E球技		
	2月	イ) ネット型・バドミントン		
	3月	イ) ネット型・卓球		

合計 105時間